

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	0405	芸術文化推進事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-5	芸術文化の振興		
	施策	1	芸術文化活動の推進		
目的	芸術に親しむ機会の提供				
対象	市民				
意図	市民が身近な場所で気軽に芸術文化にふれ親しむことができる。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○小学生のためのアートセミナー開催 ○はなまきまるごと芸術のまち事業					
市民参画の有無	[]				
市民協働の形態	○ 共催		実行委員会・協議会		○ 事業協力・協定
	後援・協賛		補助・助成		委託
活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① アートセミナー参加者数	人	計画	120	120	
		実績	116	108	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① この1年間に芸術文化活動に親しんでいる市民の割合	%	目標	21.0	23.0	
		実績	21.9	21.0	
② この1年間に芸術鑑賞をした市民の割合	%	目標	70.0	71.0	
		実績	65.0	66.3	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供は、地域の芸術文化水準の向上や活性化が図られることから、市民アンケートによる市民の割合を採用した。 芸術文化活動を行った市民の割合は毎年2～3%の伸びを目標と設定した。 芸術鑑賞をした市民の割合は、高村光太郎記念館や宮沢賢治記念館がリニューアルして開館されたことにより、市民の芸術文化に対する関心の高まりが予想されることから毎年1%の伸びを見込んだ。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	こどもたちをはじめとする、市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現するためには、行政の関わりは重要である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある 向上余地がない	身近な場所で気軽に芸術文化にふれることが可能となる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	関係文化団体と連携を図り実施。また可能な限り最小限の経費で対応しており削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	全市民を対象とした事業であるので公平である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
子供たちへ芸術文化に触れる機会の提供や、市民が日常的に芸術に親しめるような環境づくりを行うことにより、市民がゆとりと潤いの実感できる心豊かな生活を実現できるよう努めた。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 前田佐和子 内線 418

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
1	10	5	1	0405	芸術文化推進事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,840	651		△ 1,189
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,840	651		△ 1,189

事業期間	<input type="radio"/>	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------	-------	------	-----------------

部経営方針における目標

芸術文化の振興に努めます。

事業開始の背景・経緯

芸術に親しみをもつ市民を増やす。

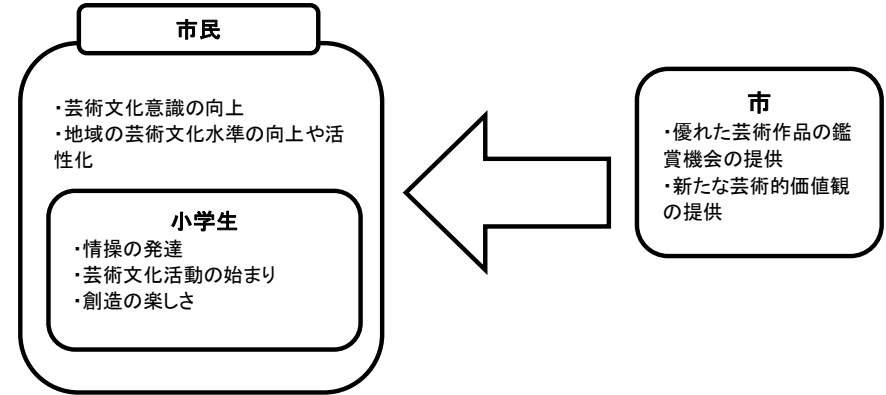
事業概要

- 小学生のためのアートセミナー開催
- はなまきまるごと芸術のまち事業

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

芸術文化に日常的に触れることができるような環境づくりや、優れた芸術作品を提供できるよう情報を収集する。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



小学生アートセミナー事業 170千円

小学生に芸術文化に触れる導入機会を提供する
開催日：平成27年8月3日（月）・4日（火） 内容：焼きものづくり、切り絵
指導者謝礼72、教材費等91、通信費7

はなまきまるごと芸術のまち事業

市所蔵美術品を公共団体や企業に貸し出し、市民に美術品鑑賞の場を提供し芸術文化意識の向上をはかる。

共通経費 481千円

時間外手当387千円、報償費65、需用費29